## 神戸総合医療専門学校 学則

## 目次

- 第1章 総則(第1条~第4条)
- 第2章 課程、学科、修業年限及び学生定員(第5条・第6条)
- 第3章 学年、学期及び休業日(第7条~第9条)
- 第4章 入学(第10条~第18条)
- 第5章 休学及び復学(第19条・第20条)
- 第6章 転学、退学及び除籍(第21条~第23条)
- 第7章 教育課程、単位算定基準、単位の認定及び学修の評価(第24条~第28条)
- 第8章 卒業(第29条・第30条)
- 第9章 修学に要する費用(第31条~第35条)
- 第10章 賞罰(第36条・第37条)
- 第11章 健康管理(第38条)
- 第12章 職員組織及び運営(第39条・第40条)
- 第13章 雑則(第41条)

附則

## 第1章 総則

(目的)

第1条 神戸総合医療専門学校(以下「本校」という。)は、診療放射線技師・臨床工学技士・視能訓練士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士に関する専門的知識及び技術、技能を教授研究し、豊かな教養と人格を備え、広く国民の保健・医療・福祉の向上に寄与することのできる優れた専門職者を育成することを目的とする。

(名称)

第2条 本校は、神戸総合医療専門学校と称する。

(所在地)

第3条 本校は、神戸市須磨区友が丘7丁目1番21に置く。

(自己点検・評価)

- 第4条 本校は、教育水準の向上を図り、第1条の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について、自ら点検及び評価を行うものとする。
- 2 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

第2章 課程、学科、修業年限及び学生定員

(課程、学科、修業年限及び学生定員)

第5条 本校の課程、学科、修業年限及び学生定員は次のとおりとする。

課程	学科	昼夜 の別	修業年限	入学定員	学級数	総定員
	診療放射線科	昼	3年	80名	2学級	240名
	臨床工学科	昼	3年	40名	1学級	120名
	視能訓練士科	昼	3年	40名	1学級	120名
医療専門課程	理学療法士科	昼	3年	60名	2学級	180名
	作業療法士科	昼	3年	30名	1学級	90名
	言語聴覚士科	昼	2年	25名	1学級	50名
	臨床工学専攻科	昼	1年	10名	1 学級	10名

(在学年限)

- 第6条 学生は、修業年限の2倍を超えて在学することはできない。
- 2 第17条及び第18条の規定により入学した者は、修業年限の2倍に相当する期間を超えて在学することはできない。

第3章 学年、学期及び休業日

(学年)

第7条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第8条 学期は、次の2期とする。

前期 4月1日より9月30日まで

後期 10月1日より翌年3月31日まで

2 教育上必要と認められるときは、前項の期間を各学科において学校長の承認を得て変更すること ができる。

(休業日)

- 第9条 休業日は、次のとおりとする。
  - (1) 日曜日
  - (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
  - (3) 創立記念日 10月1日
  - (4) 季節休業日 (春季、夏季、冬季)
- 2 学校長は、必要があるときは、前項の休業日を臨時に変更することができる。
- 3 第1項に定めるもののほか、学校長は、臨時の休業日を定めることができる。
- 4 教育上必要と認められるときは、第1項から前項の規定にかかわらず、休業日において学校長の 承認を得て授業等を行うことができる。

第4章 入学

(入学の時期)

第10条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

- 第11条 診療放射線科、臨床工学科、視能訓練士科、理学療法士科、作業療法士科に入学できる者 は、次の各号の一に該当する者とする。
  - (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者。
  - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
  - (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
  - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設当該課程を修了した者。
  - (5) 文部科学大臣の指定した者。(昭和23年文部省告示第47号)
  - (6) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により、文部科学大臣の 行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者。ただし大学入学資格検定(昭和26年文部省 令第13号)廃止前にあっては、大学入学資格検定に合格した者。
  - (7) その他、本校の行う個別入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた者で、満18歳に達した者。
- 2 言語聴覚士科に入学できる者は、学校教育法に基づく大学(短期大学を除く)若しくは旧大学令に基づく大学を卒業した者又は言語聴覚士法施行規則(平成10年厚生省令第74号)第17条で 定める者とする。
- 3 臨床工学専攻科に入学できる者は、学校教育法に基づく大学(短期大学を含む)若しくは高等専門学校、旧大学令に基づく大学又は臨床工学技士法施行規則(昭和63年厚生省令第19号)第13条各号に掲げる学校、文教研修施設若しくは養成所において、2年(高等専門学校にあっては5年)以上修業し、かつ、厚生労働大臣の指定する科目を修めた者とする。

(入学の出願)

第12条 本校に入学を志願する者は、所定の期日までに入学願書に入学検定料及び別に定める書類を添えて願い出なければならない。

(入学者の選考)

- 第13条 前条の手続きを終えた者に対して入学試験を行い、入学者を決定する。
- 2 入学試験に関することは別に定める。

(入学の手続き及び許可)

第14条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、入学金、授業料及びその他の必要経費を納入し、所定の書類を提出しなければならない。

2 学校長は、前項の手続を完了した者に対し入学を許可する。

(入学取り消し)

第15条 学校長は入学試験合格者が、不正な手段により入学の許可を受けたことが判明した時は入 学許可を取り消すことができる。

(転入学)

- 第16条 本校に転入学を志望する者があるときは、学校長は学校の教育計画、学科及び実習の進度 が同程度であり、かつ欠員のある場合に限り選考のうえ相当学年に転入学を許可することがある。
- 2 転入学者の履修方法、既修得単位の認定については別に定める。

(再入学)

- 第17条 第22条の規定により中途退学した者で、再び同一学科に入学を志望する者があるとき は、選考のうえ学校長がこれを許可することがある。
- 2 再入学者の履修方法、既修得単位の認定については別に定める。

(転入学、再入学の手続き等)

- 第18条 本校に転入学、再入学を志望する者は、所定の期日までに、入学願書に入学検定料及び別に定める書類を添えて願い出なければならない。
- 2 転入学又は再入学を志望する者に対する選考に関して必要な事項は別に定める。

第5章 休学及び復学

(休学)

- 第19条 学生は次の場合、学校長の許可を得て、その学期又は学年に限り休学をすることができる。
  - (1) 疾病のため就学不能のとき。
  - (2) その他特別な理由があるとき。
- 2 前項の休学期間は、第6条に定める在学年限に算入されない。
- 3 休学期間は原則として1年を超えることはできない。
- 4 休学の願い出及び手続等は別に定める。

(復学)

- 第20条 休学中の学生が復学しようとするときは、所定の手続きをした上で学校長の許可を得て、 復学することができる。
- 2 復学時期は別に定める。

第6章 転学、退学及び除籍

(転学)

第21条 本校の学生が他の学校又は養成施設に転学を志願しようとするときは、理由を記した書類 を添えて学校長に願い出て、許可を受けなければならない。

(退学)

第22条 退学しようとするときは、その理由を明記し学校長に願い出て許可を受けなければならない。

(除籍)

- 第23条 学校長は、次の各号の一に該当するときは、除籍することができる。
  - (1) 第6条に定める在学年限を超えたとき。
  - (2) 第19条に定める休学期間を超えて、なお就学できないとき。
  - (3) 授業料及びその他の必要経費の納付を怠り、督促してもなお納入しないとき。
  - (4) 度重なる指導においても改善の余地が見られないとき。

第7章 教育課程、単位算定基準、単位の認定及び学修の評価

(教育課程)

第24条 授業科目、単位数及び授業時間数は別表第1から別表第7のとおりとする。

(単位算定基準)

- 第25条 単位の計算方法については、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮し、次の基準により計算するものとする。
  - (1) 講義及び演習については、15時間~30時間をもって1単位とする。
  - (2) 実験、実習及び実技については、30時間~45時間をもって1単位とする。

(単位の認定)

- 第26条 別表第1から別表第7に定める各学科所定の授業科目を履修し、学修の評価で合格した者 に単位を認定する。
- 2 履修方法に関することは別に定める。

(他の教育機関における既修得単位の認定)

- 第27条 教育上有益と認めるときは、学生が本校に入学する前に大学、高等専門学校又は看護師、 歯科衛生士、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、臨床工学技 士、義肢装具士、救急救命士、言語聴覚士の資格に係る学校若しくは養成所、その他の学校等にお いて修得した授業科目の単位を、本校における授業科目及び単位として認定することができる。
- 2 前項の規定により認定される授業科目の範囲、認定基準等については別に定める。 (学修の評価)
- 第28条 学修の評価は定期試験並びに臨床・臨地実習の成績、履修状況等を総合的に勘案して行う。
- 2 学修の評価に関して必要な事項は別に定める。

第8章 卒業

(卒業)

- 第29条 卒業の要件は、各学科の修業年限以上在学し、所定の全科目を履修し、単位を修得することとする。
- 2 前項の要件を満たした者については、学校長が卒業を認定し、卒業証書を授与する。 (称号の授与)
- 第30条 診療放射線科、臨床工学科、視能訓練士科、理学療法士科、作業療法士科、言語聴覚士科 において学校長が卒業を認定した者には文部科学大臣告示(平成6年文部省告示第84号)により 専門士の称号を授与する。

第9章 修学に要する費用

(入学検定料・入学金・授業料等の額)

- 第31条 本校の入学検定料・入学金・授業料及びその他の必要経費は、別表第8のとおりとする。 (入学金・授業料等の納付時期)
- 第32条 授業料及びその他の必要経費は、毎年前期、後期の2期に分けて指定された期日までに納付しなければならない。
- 2 入学金については、入学時のみとする。

(休学の場合の授業料等)

第33条 休学中の授業料及びその他の必要経費は免除する。ただし、学期の中途において休学する場合は、その学期の授業料及びその他の必要経費全額を納入しなければならない。

(退学、除籍及び停学の場合の授業料等)

- 第34条 学期の中途において退学又は除籍された者は、その学期に属する分は徴収する。
- 2 停学中の者は、その期間中も徴収する。
- 第35条 既納の授業料及びその他の必要経費は、いかなる場合であっても返還しない。

第10章 賞罰

(表彰)

- 第36条 学生として表彰するに価する行為があった者は、運営会議の議を経て、学校長が表彰する。
- 2 前項に関して必要な事項は、別に定める。

(懲戒)

- 第37条 本校の規定に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、運営会議の議を経て、学校長が懲戒する。
- 2 前項の懲戒の種類は、訓告、停学及び除籍とする。
- 3 前2項に関して必要な事項は、第23条及び別に定める。

第11章 健康管理

(健康管理)

第38条 本校学生は、毎年定期(1回)、及び臨時に行う健康診断を受けなければならない。

第12章 職員組織及び運営

(職員組織)

- 第39条 本校に次の職員を置く。
  - (1) 学校長 1名
  - (2) 専任教員 関係法令の規定数以上
  - (3) 事務職員 若干名
  - (4) 学校医 1名
- 2 学校長は校務を統括し、所属職員を監督する。
- 3 職員組織に関する必要な事項は別に定める。

(運営会議)

第40条 学校の円滑公正な運営と教育内容の充実及び向上を図るために、運営会議を置く。

第13章 雑則

(補則)

第41条 この学則の実施に必要な内規は学校長が別に定める。

附則

この学則は、平成14年4月1日より施行する。

附 目

この学則は、平成17年4月1日より施行する。

附則

- 1 この学則は、平成18年4月1日より施行する。
- 2 別表 理学療法士科 教育課程については、平成18年度第1学年より適用する。

附則

- 1 この学則は、平成19年4月1日より施行する。
- 2 別表 言語聴覚士科 教育課程については、平成19年度第1学年より適用する。

附則

- 1 この学則は、平成22年4月1日より施行する。
- 2 別表 診療放射線科 教育課程、別表 作業療法士科 教育課程及び別表 言語聴覚士科 教育 課程については、平成22年度第1学年より適用する。

附則

この学則は、平成23年4月1日より施行する。

附則

- 1 この学則は、平成24年4月1日より施行する。
- 2 別表 臨床工学科 教育課程及び別表 臨床工学専攻科 教育課程については、平成24年度第 1学年より適用する。

附則

この学則は、平成26年4月1日より施行する。

附則

- 1 この学則は、平成28年4月1日より施行する。
- 2 別表 診療放射線科 教育課程については、平成28年度第1学年より適用する。

附則

- 1 この学則は、平成30年4月1日より施行する。
- 2 別表 視能訓練士科 教育課程及び別表 学費一覧については、平成30年度入学生より適用する。

附則

- 1 この学則は、平成31年4月1日より施行する。
- 2 別表第2 臨床工学科 教育課程、別表第7 言語聴覚士科 教育課程、別表第8 臨床工学専 攻科 教育課程については、平成31年度入学生より適用する。

附則

- 1 この学則は、令和2年4月1日より施行する。
- 2 別表第4 理学療法士科 教育課程、別表第5 作業療法士科 教育課程については、令和2年 度入学生より適用する。

附則

- 1 この学則は、令和3年4月1日より施行する。
- 2 別表第8 入学検定料・入学金・授業料及びその他の必要経費については、令和3年度入学生より適用する。

A) A	授業科目	単位数	時間数	単位数
科学的思考の基盤	数学	2	60 30	ł
	<u>物理学</u> 化学	1	30	ł
	生物学	1	30	ł
	基礎科学実験	1	45	ł
人間と生活	心理学	1	30	ł
	社会学	1	30	14
	英語I	2	60	i
	英語Ⅱ	2	60	1
	健康科学	1	15	1
	スポーツ実技	1	45	1
	小計	14	435	1
人体の構造と機能	医学概論	1	15	
及び疾病の成り立ち	臨床医学概論	1	30	1
	解剖学	2	60	1
	生理学	1	30	1
	生化学	1	30	1
	病理学	2	60	1.0
	公衆衛生学	1	30	13
	救急医学概論	1	15	1
	看護学概論	1	15	1
	リハビリテーション概論	1	15	
	薬理学	1	15	1
	小計	13	315	L
保健医療福祉における	応用数学	2	60	
理工学的基礎並びに	電気工学	2	60	]
放射線の科学及び技術	電気電子工学実験	1	45	]
	電子工学	2	60	]
	放射線物理学I	1	30	]
	放射線物理学Ⅱ	1	30	]
	放射化学	1	30	10
	放射線生物学	2	60	18
	放射線計測学	2	60	]
	放射線科学実験	1	45	
	放射線計測学実験	1	45	
	診療放射線技術学概論	1	15	
	医用物理学	1	30	
	· 小 計	18	570	1
診療画像技術学	エックス線撮影技術学 I	2	60	
	エックス線撮影技術学Ⅱ	2	60	
	エックス線撮影技術学Ⅲ	2	60	
	診療画像検査学 I	2	60	
	診療画像検査学Ⅱ	1	30	1
	診療画像技術学実習I	1	45	
	診療画像技術学実習Ⅱ	1	45	17
	画像解剖学	2	60	
	診療画像機器学I	1	30	
	診療画像機器学Ⅱ	1	30	
	診療画像機器学実験 I	1	45	
	診療画像機器学実験Ⅱ	1	45	
	小計	17	570	
核医学検査技術学	放射性医薬品学I	1	30	
	放射性医薬品学Ⅱ	1	30	1
	核医学検査技術学	2	60	6
	核医学機器学	2	60	J
	小計	6	180	
放射線治療技術学	放射線治療技術学	2	60	l
	放射線治療物理学	2	60	6
	放射線治療機器学	2	60	l "
	小計	6	180	
医用画像情報学	放射線写真学	1	30	
	医療情報学 I	1	30	
	医療情報学Ⅱ	1	30	ļ.
	医用画像工学 I	1	30	6
	医用画像工学Ⅱ	1	30	l
	医用画像工学実験	1	45	ļ
11 41 24 4 4 44 2 1 4	小計	6	195	<u> </u>
放射線安全管理学	放射線安全管理学	2	60	!
	放射線安全管理学実習	1	45	4
	関係法規	1	30	
	小計	4	135	
医療安全管理学	医療安全管理学	1	15	1
	小計	1	15	_ ·
臨床実習	診療画像検査技術学臨床実習	6	270	
	核医学検査技術学臨床実習	2	90	10
	放射線治療技術学臨床実習	2	90	] 10
	· 計	10	450	
診療放射線学	診療放射線学特論	1	30	
	診療放射線学演習	2	60	!
	小計	3	90	I
			50	

解字の場合の基盤			授 業 科 目	単位数	授 業 時間数	法 定 単位数
機能学生   1   30   14   15   30   14   15   30   14   15   30   14   15   30   14   15   30   14   15   30   14   15   30   14   15   30   14   15   30   14   15   30   14   15   30   14   15   30   14   15   30   14   15   30   15   30   15   30   15   30   30   30   30   30   30   30   3				1		
度		人間と生活	物理学I	1	30	
無機			物理学Ⅱ	1	30	
# 生命を変す 1 30 14 15 15 15 16 15 15 15 16 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15				1	30	
日	基			1		
1				1	30	
### 1	谜		人間関係論	1	30	
			社会学	1	30	14
	分		キャリア教育	1	15	
日本語目 1 30 日本語III 1 30			チーム医療論	1		İ
田川東海田   1   30   日本   1	平			1		1
医用薬器皿	•			1		1
保藤体育   1   300				1		1
大体の情温及び機能				1		1
人外の構造及び機能				14		1
大の潜血及び降離日		人体の構造及び機能				
生理学   1   30   30   30   30   30   30   30		八件の併追及し機能		1		1
研究学院語   2   60   1				1		1
基準性の						6
日本						ł
展示工学に必要な 医学的基礎 1 1 15 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2						ł
世 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学			小計			
1	声					4
日   日   日   日   日   日   日   日   日   日	4	医字的基礎				1
日   日   日   日   日   日   日   日   日   日		ĺ		1	30	1
関		1		1	30	1
議議	門	ĺ		1		8
「職床工学に必要な		1		1		1
据		1		1		1
## 1	其.	ĺ		1		1
議定工学に必要な 医用工学経論 1 30 に用数学1 2 60 に用数学1 2 60 に用数学1 2 60 で用数学1 2 60 で対象が表現 2 60 でが対象が表現を対象が表現 2 60 で対象が表現 3 6 で対象が表現 3 6 を対象を変更を変更を変更を変更を変更 2 60 で対象が表現 3 6 を対象を変更を変更を変更 2 60 で対象が表現を変更を変更 1 30 で対象が表現を変更を変更 1 30 で対象が表現を変更を変更 1 30 で対象が表現で表現 3 1 45 が表現を変更を適宜 1 30 で対象が表現を変更 2 60 で対象が表現を変更を変更 2 60 で対象が表現を変更 2 60 で対象が表現を変更を変更 1 30 で対象が表現を変更を変更 1 30 で対象が表現を変更を変更 1 30 で対象が表現を変更を変更 1 30 のが表現を変更を変更 1 30 のが表現を変更を変更 2 60 で対象が表現を変更を変更 1 30 のが表現を変更を変更 1 30 のが表現を変更を変更 1 30 のが表現を変更を変更 1 30 のが表現を変更を変更 3 1 30 のが表現を変更を変更 3 1 30 のが表現を変更を変更 3 1 30 のが表現を変更を変更を変更 3 1 30 のが表現を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を	±>	1		1		1
### 第2 1 1 30 1 1 30 1 1 1 30 1 1 1 30 1 1 1 30 1 1 1 30 1 1 1 30 1 1 1 1		吹出て登りがまた				<del></del>
安田	ndu.					4
近月物理学	谜	埋工字的基礎	心用数字Ⅰ			1
電気工学   2 60		1				1
野			応用物理学	2	60	
野 接対工学 2 60 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	分		電気工学	2	60	16
医用電子工学観論			電子工学	2	60	10
医用電子工学観論			機械工学	2	60	l
田木工学に必要な	HZ.					1
小 計	到		電气•電子工学演習			1
塩田ンテム   地域では   1						ł
医療情報技術と		でサマツェルエル	4 F1			
システム工学の基礎     システム工学商習						4
情報処理演習						1
下		システム工学の基礎	システム工学演習	1	30	7
医用生体工学       医用機器学響論       2       60         生体物性工学       2       60       7         反用画像処理工学       1       30       7         小       計       7       7       210         医用機器学       1       30       30       4       4         生体計測装置学       1       30       4			情報処理演習	2	60	1
生体物性工学       2       60         材料工学       2       60         医用機器学       1       30         小       計別工学       1       30         生体計測装置学       1       30       4         生体計測装置学       2       60       8         医用治療機器学       2       60       8         医用治療機器学       2       60       8         生体機能代行技術学       1       30       4         中砂療法器管学       1       30       4         中砂療法器管学       1       30       4         中砂療法装置学       2       60       4         医用安全管理学       2       60       5         医用機器安全管理学       2       60       6         医用接器安全管理学       2       60       5         医用機器安全管理学       2       60       5         医用機器安全管理学       2       60       5         医用接路安全管理学       1       30       6      <			小計	7	210	1
生体物性工学       2       60         材料工学       2       60         医用機器学       1       30         小       計別工学       1       30         生体計測装置学       1       30       4         生体計測装置学       2       60       8         医用治療機器学       2       60       8         医用治療機器学       2       60       8         生体機能代行技術学       1       30       4         中砂療法器管学       1       30       4         中砂療法器管学       1       30       4         中砂療法装置学       2       60       4         医用安全管理学       2       60       5         医用機器安全管理学       2       60       6         医用接器安全管理学       2       60       5         医用機器安全管理学       2       60       5         医用機器安全管理学       2       60       5         医用接路安全管理学       1       30       6      <		医用生体工学	医用機器学概論	2	60	
		6/11×17×1	生体物性工学			1
医用機器学   1 30						7
下   計   7   210						1
医用機器学 計測工学 1 30 4 4 体計測装置学 1 30 8 8 E 4 体計測装置学演習 2 60						1
生体計測装置学演習		医田操品类				
生体計測装置学演習		医用機奋子	1-1-0-4			4
医用治療機器学       2       60         医用治療機器学演習       2       60         小       計       8       240         生体機能代行技術学       野・泌尿器学       1       30         血液浄化装置学       2       60       60         師要療法装置学       1       30       12         体外循環装置学       2       60       60         血液浄化装置学演習       1       30       30         体外循環装置学演習       1       30       4         体外循環装置学演習       1       30       30         体外循環装置学演習       1       30       4         医用接器安全管理学       2       60       60         医用接器安全管理学演習       2       60       60         医用機器安全管理学演習       2       60       5         財際法規       1       15       5         小       計       5       135         財産法       1       15       1         小       計       30       6         医用安全管理学       1       30       6         国家床医学総論II       1       30       6         国家床医学総論II       1       30       6         国家床医学総論II       1       45 <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></t<>						4
医用治療機器学演習			生体計測装置字演習			8
上 本機能代行技術学			医用治療機器学		60	1
生体機能代行技術学       賢・必尿器学       1       30         血液浄化装置学       2       60         呼吸療法装置学       2       60         確業器学       1       30         体外循環装置学演習       1       30         中吸療法装置学演習       1       30         体外循環装置学演習       1       30         体外循環装置学演習       1       30         体外循環装置学演習       2       60         医用安全管理学       2       60         医用接器安全管理学       2       60         関係法規       1       15         小       計       5       135         財       1       15       15         財       1       15       15         財       1       15       15         財       1       1       30         塩床医学総論I       1       30       6         塩床医学総論I       1       30       6         塩床医学総論II       1       30       6         塩床実習(血液学化論I       1       30       6         塩床実習(血液学総論I       1       45       4         塩床実習(生物室)       1       45       4         塩床実習(生物学)       1 <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></t<>						1
画液浄化装置学			小計	8	240	<u>L</u> _
画液浄化装置学		生体機能代行技術学	腎•泌尿器学	1	30	
呼吸器学			血液浄化装置学			1
F		1				1
括環器学		1				1
Tan	専	1				1
画	•	1				12
		1				ł
体外循環装置学演習	38	1				4
The state of t	.1	1				4
田安全管理学		ļ				4
医用機器安全管理学演習			7			
財産     1     15       小     計     5     135       関連臨床医学     1     30       塩床医学総論 I     1     30       塩床医学総論 II     1     30       塩床医学総論 II     1     30       塩床医学総論 II     1     30       塩床医学総論 IV     1     30       小     計     6     180       塩床実習(血液浄化装置)     1     45       塩床実習(集中治療室)     1     45       塩床実習(手術室)     1     45       塩床実習(医療機器管理)     1     45       総合 塩床工学演習 I     1     30       水     計     30       総合 塩床工学演習 I     1     30       水     計     30       水     計     30       お合 塩床工学演習 II     1     30       水     計     2     60	分	医用安全管理学		2	60	1
財産     1     15       小     計     5     135       関連臨床医学     1     30       塩床医学総論 I     1     30       塩床医学総論 II     1     30       塩床医学総論 II     1     30       塩床医学総論 II     1     30       塩床医学総論 IV     1     30       小     計     6     180       塩床実習(血液浄化装置)     1     45       塩床実習(集中治療室)     1     45       塩床実習(手術室)     1     45       塩床実習(医療機器管理)     1     45       総合 塩床工学演習 I     1     30       水     計     30       総合 塩床工学演習 I     1     30       水     計     30       水     計     30       お合 塩床工学演習 II     1     30       水     計     2     60		ĺ	医用機器安全管理学演習	2	60	-
野     小     計     5     135       関連臨床医学     1     30       塩床医学総論 I     1     30       塩床医学総論 II     1     30       塩床医学総論 II     1     30       塩床医学総論 II     1     30       塩床医学総論 IV     1     30       小     計     6     180       塩床実習 (塩液浄化装置)     1     45       塩床実習(集中治療室)     1     45       塩床実習(手術室)     1     45       塩床実習(医療機器管理)     1     45       ・ 小     計     4     180       総合     総合     1     30       ・     1     30       ・     1     30       ・     1     30       ・     1     30       ・     1     30       ・     2     60		ĺ		1	15	) 
関連臨床医学     麻酔治療医学     1     30       集中治療医学     1     30       臨床医学総論II     1     30       臨床医学総論II     1     30       臨床医学総論IV     1     30       小     計     6     180       臨床実習     塩床実習(血液浄化装置)     1     45       臨床実習(集中治療室)     1     45       臨床実習(手術室)     1     45       臨床実習(医療機器管理)     1     45       小     計     4     180       総合     2     60	野			5		1
集中治療医学     1 30       臨床医学総論 I     1 30       臨床医学総論 II     1 30       臨床医学総論 II     1 30       小     計 6 180       臨床実習 (血液浄化装置)     1 45       臨床実習(集中治療室)     1 45       臨床実習(手術室)     1 45       臨床実習(医療機器管理)     1 45       水     計 4 180       総合     総合臨床工学演習 I     1 30       水     計 30       総合臨床工学演習 II     1 30       小     計 30       計     2 60	-1	関連臨床医学				
臨床医学総論 I     1     30       臨床医学総論 II     1     30       臨床医学総論 IV     1     30       小     計     6     180       臨床実習 (血液浄化装置)     1     45       臨床実習 (集中治療室)     1     45       臨床実習 (手術室)     1     45       臨床実習 (医療機器管理)     1     45       本     1     30		以在哪小位于				1
臨床医学総論Ⅲ       1       30       6         臨床医学総論Ⅳ       1       30         小       計       6       180         臨床実習       臨床実習(血液浄化装置)       1       45         臨床実習(集中治療室)       1       45         臨床実習(手術室)       1       45         臨床実習(医療機器管理)       1       45         小       計       4       180         総合臨床工学演習 I       1       30         総合臨床工学演習 I       1       30         小       計       2       60		ĺ				1
臨床医学総論Ⅲ     1     30       臨床医学総論Ⅳ     1     30       小     計     6     180       臨床実習     1     45       臨床実習(集中治療室)     1     45       臨床実習(手術室)     1     45       臨床実習(医療機器管理)     1     45       本     計     4     180       総合     総合臨床工学演習Ⅱ     1     30       水     計     2     60		ĺ				_
臨床医学総論IV     1     30       小     計     6     180       臨床実習(血液浄化装置)     1     45       臨床実習(集中治療室)     1     45       臨床実習(手術室)     1     45       臨床実習(医療機器管理)     1     45       小     計     4     180       総合臨床工学演習 I     1     30       総合臨床工学演習 I     1     30       小     計     2     60		1				6
小     計     6     180       臨床実習(血液浄化装置)     1     45       臨床実習(集中治療室)     1     45       臨床実習(手術室)     1     45       臨床実習(医療機器管理)     1     45       小     計     4     180       総合臨床工学演習 I     1     30       総合臨床工学演習 II     1     30       小     計     2     60		1	品床医字総論Ⅲ			4
臨床実習     臨床実習(血液浄化装置)     1     45       臨床実習(集中治療室)     1     45       臨床実習(手術室)     1     45       臨床実習(医療機器管理)     1     45       小     計     4     180       総合     総合臨床工学演習 I     1     30       水合臨床工学演習 II     1     30       小     計     2     60						1
臨床実習(集中治療室)     1     45       臨床実習(手術室)     1     45       臨床実習(医療機器管理)     1     45       小     計     4     180       総合     総合臨床工学演習 I     1     30       総合臨床工学演習 II     1     30       小     計     2     60				6	180	<u></u>
臨床実習(集中治療室)     1     45       臨床実習(手術室)     1     45       臨床実習(医療機器管理)     1     45       小     計     4     180       総合     総合臨床工学演習 I     1     30       水合臨床工学演習 I     1     30       小     計     2     60		臨床実習	臨床実習(血液浄化装置)	1	45	
臨床実習(手術室)     1     45     4       臨床実習(医療機器管理)     1     45       小     計     4     180       総合     総合臨床工学演習 I     1     30       総合臨床工学演習 II     1     30       小     計     2     60		1		1		1
臨床実習(医療機器管理)     1     45       小     計     4     180       総合     総合臨床工学演習 I     1     30       総合臨床工学演習 II     1     30       小     計     2     60		i .				4
小     計     4     180       総合     総合臨床工学演習 I     1     30       総合臨床工学演習 II     1     30       小     計     2     60					10	4 *
総合     総合臨床工学演習 I     1     30       総合臨床工学演習 II     1     30       小     計     2     60			庭床(主翌(库春   とります   とりますま		15	
総合臨床工学演習Ⅱ 1 30 1 1 30 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				1		
小 計 2 60		₩.Δ	- 小 計	1 4	180	
		総合	小 計 総合臨床工学演習 I	1 4 1	180 30	
		総合	小 計 総合臨床工学演習 I 総合臨床工学演習 II	1 4 1 1	180 30 30	
		総合	小 計 総合臨床工学演習 I 総合臨床工学演習 II	1 4 1 1	180 30 30	93

		授 業 科 目	単位数	授 業 時間数	法 単位数
	科学的思考の基盤	生物学	2	30	
		統計学	2	30	1
		情報科学	2	30	1
-	人間と生活	英語	2	30	
		医用英語	1	15	
k E		心理学	2	30	1
		人間関係論	2	30	14
ì		生命倫理学	2	30	
		キャリア教育I	1	15	
۶		キャリア教育Ⅱ	2	30	1
		保健体育 I	1	30	1
		保健体育Ⅱ	1	30	1
ľ		小計	20	330	
	人体の構造と機能	解剖・生理学 I	2	30	
	及び心身の発達	解剖・生理学Ⅱ	2	30	1
	,	解剖・生理学Ⅲ	2	30	8
		人間発達学	2	30	1
ŀ		小計	8	120	1
į.	疾病と障害の	臨床生理学概論	2	30	
	成り立ち及び	医学概論	2	30	
	回復過程の促進	臨床医学 I	1	15	l
1	四夜過往少促進	臨床医学Ⅱ	1	15	8
J		臨床心理学	2	30	0
		7,100-1 4			l
		精神衛生学	2	30	l
- 1	担骨燃化の甘味 1.		10	150	<del>                                     </del>
	視覚機能の基礎と	視器の解剖生理	2	60	l
	検査機器	視覚情報処理学	2	30	_
k E		眼薬理学 担然的本質の教	2	30	8
ļ		視能検査学総論	2	30	l
. I		小計	8	150	
	保健医療福祉と	社会福祉学	2	30	l
	視能障害のリハビリ	公衆衛生学	2	30	1
ξ.	テーションの理念	保育学	2	30	l
1		医療安全管理論	1	15	1
		チーム医療論	1	15	5
		視能訓練学概論	1	15	
		リハビリテーション医学	1	15	l
		ロービジョン学	2	30	l
		小計	12	180	
	基礎視能矯正学	視能矯正学総論	1	15	
		基礎視能矯正学Ⅰ	2	30	1
		基礎視能矯正学Ⅱ	2	30	1
		幾何光学	1	15	10
		生理光学 I	2	30	10
		生理光学Ⅱ	2	30	1
		視覚生理学	2	30	1
ľ		小 計	12	180	1
ľ	視能検査学	生理光学 I 演習	1	30	
	D211217(111)	生理光学Ⅱ演習	2	60	i
		視能検査学I	2	60	1
		視能検査学Ⅱ	2	60	1
		視能検査学Ⅲ	2	60	1
Ĺ		視能検査学IV	1	30	10
		祝能恢宜于IV 視能検査学総合演習	2	60	10
		視覚情報処理学演習	1	30	1
		画像診断学	2	30	1
j		四塚彭列子 視能矯正学演習	2	60	I
ŀ			17	480	I
ŀ	<b>月</b> 化	視能障害学 I			<del>                                     </del>
	視能障害学		2	30	I
.		視能障害学Ⅱ	2	30	I
		視能障害学Ⅲ	2	30	6
		神経眼科 I 神経眼科 II	2	60	I
. }		神経眼科Ⅱ   小 計	1	30	I
•	担化訓体学		9	180	<del>                                     </del>
	視能訓練学	視能矯正学各論 I	2	30	I
		視能矯正学各論Ⅱ	2	30	I
		視能訓練学 I	2	30	10
		視能訓練学Ⅱ	2	30	1
Ļ		視能訓練学Ⅲ	2	60	I
Ļ	et . 1.6	小 計	10	180	<u> </u>
	臨地実習	臨地実習I	1	45	I
		臨地実習Ⅱ	1	45	14
L		臨地実習Ⅲ	12	540	1 1 1
ſ		小計	14	630	
	総合演習	総合視能訓練学演習 I	1	30	
ľ			1	30	ı
Ţ		総合視能訓練学演習 II	1	30	
			2	60	

	授 業 科 目	単位数	授業	法定
科学的思考の基盤	倫理学	2	時間数 30	単位数
人間と生活	物理学	1	15	
社会の理解	統計学	1	15	
正五少生/并	生物学	2	30	
表	医学英語	2	30	
林	保健体育 I	1	30	1.4
<del>\</del>	保健体育Ⅱ	1	30	14
野	情報処理演習	1	15	
	コミュニケーション論	2	30	
	キャリア教育Ⅰ	2	30	
	キャリア教育Ⅱ	1	15	
	小 計	16	270	
人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	2	60	
及び心身の発達	解剖学Ⅱ	1	30	
	解剖学演習 I	1	15	
	解剖学演習 Ⅱ	1	30	
	解剖学演習Ⅲ	1	30	
	生理学 I	1	30	
	生理学Ⅱ	1	30	12
	生理学Ⅲ	1	30	12
<b>+</b>	運動生理学演習	1	30	
<b>身</b>	運動学 I	1	30	
	運動学Ⅱ	1	30	
H	運動学Ⅲ	1	30	
月	人間発達学	1	30	
adeade) prode a No. 12	小計	14	405	
疾病と障害の成り立ち 基 及び回復過程の促進	内科学 I	1	30	
基 及び回復過程の促進	内科学Ⅱ	1	30	
	臨床心理学	1	30	
林	精神医学 整形外科学 I	1 1	30	
巫	整形外科学Ⅱ	1	30 30	
	一	1	30	
	神経内科学Ⅱ	1	30	14
<del>(</del>	小児科学	1	15	14
	一般臨床医学Ⅰ	1	30	
13	一般臨床医学Ⅱ	1	30	
野	病理学概論	1	30	
	臨床栄養学	1	15	
	臨床薬学	1	15	
	小計	14	375	
保健医療福祉と	公衆衛生学	1	30	
リハビリテーションの理念	社会福祉学	1	30	
ラ: ログラ <b>* 10 * 17 * 1</b> * 1 * 1 * 1 * 1 * 1 * 1 * 1 * 1 *	リハビリテーション概論	1	30	4
	リハビリテーション医学	1	30	_
	小計	4	120	
基礎理学療法学	理学療法概論 I	1	30	
	理学療法概論Ⅱ	1	30	
	臨床運動学	1	30	
	基礎理学療法学演習I	1	30	6
	基礎理学療法学演習Ⅱ	1	30	
	理学療法研究論	1	15	
	小計	6	165	
理学療法管理学	理学療法管理学Ⅰ	1	15	
	理学療法管理学Ⅱ	1	15	2
TH 24년 1년 1년 1년 1년 2년	小計	2	30	
理学療法評価学	理学療法評価学I	1	30	
	理学療法評価学Ⅱ  理学療法評価学Ⅲ	1	30	
<b>身</b>	理学療法評価学Ⅲ 理学療注評価学Ⅳ	1	30 30	6
	理学療法評価学IV  理学療法評価学V	1	30	Ö
	理学療法評価学V 理学療法評価学VI	1 1	30	
		6	180	
理学療法治療学	運動療法学Ⅰ	1	30	
(工) 从四川水丁	運動療法学Ⅱ	1	30	
	物理療法学I	1	30	
. [	物理療法学Ⅱ	1	30	
<del>f</del>	日常生活活動学 I	1	30	
	日常生活活動学Ⅱ	1	30	
	装具学	1	30	
₹	義肢学	1	30	
F	運動器系理学療法学I	1	30	
	運動器系理学療法学Ⅱ	1	30	
	内部障害理学療法学I	1	30	20
	内部障害理学療法学Ⅱ	1	30	
	中枢神経系理学療法学 I	1	30	
	中枢神経系理学療法学Ⅱ	1	30	
	中枢神経系理学療法学Ⅲ	1	30	
	中枢神経系理学療法学IV	1	15	
	小児理学療法学	1	30	
	スポーツ障害理学療法学	1	30	
	疼痛理学療法学	1	30	
Ī	理学療法臨床技能演習	1	30	1
	小計	20	585	

	地域理学療法学	地域理学療法学総論	1	30	
		生活環境学	1	30	3
		地域理学療法学各論	1	30	ა
専		小計	3	90	
41.	臨床実習	臨床実習 I	1	45	
		臨床実習Ⅱ	3	135	
門		臨床実習Ⅲ	7	315	20
l l		臨床実習Ⅳ	7	315	20
		臨床実習V	2	90	
$\wedge$		小計	20	900	
分		理学療法特論 I	1	30	
		理学療法特論Ⅱ	1	30	
m2		理学療法特論Ⅲ	1	30	
野		理学療法特論IV	1	30	
		総合理学療法学演習 I	3	90	
		総合理学療法学演習 II	3	90	
		小計	10	300	
		合 計	115	3420	101

	授 業 科 目	単位数	授業	法定
科学的思考の基盤	心理学	2	時間数 30	単位数
人間と生活	倫理学	2	30	ł
社会の理解	物理学	1	15	i
区五砂星所	生物学	2	30	
	医学英語	2	30	1
	保健体育	1	30	14
	情報処理演習	Î	15	1
	人間関係論	2	30	1
	キャリア教育 I	1	15	1
	キャリア教育Ⅱ	1	15	1
	小計	15	240	
人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	1	30	
及び心身の発達	解剖学Ⅱ	1	30	
	解剖学Ⅲ	1	30	
	解剖学IV	1	30	1
	解剖学演習 I	1	15	l
	解剖学演習Ⅱ	1	15	l
	解剖学演習Ⅲ	1	15	1
	解剖学演習IV	1	30	
	生理学Ⅰ	1	30	12
	生理学Ⅱ	1	30	l
	生理学Ⅲ	1 1	30	l
	生理学演習	1	30	l
1	運動学	1	30	I
	運動学演習I	1	30	I
1	運動学演習Ⅱ	1	30	l
	人間発達学	10	30	l
疾病と障害の成り立ち		16	435 30	<b> </b>
		1		l
及び回復過程の促進	内科学Ⅱ 臨床心理学	1	30 30	ł
	端床心理子 精神医学 I	1	30	l
1	相性医子 I 精神医学 II	1	30	l
	整形外科学 I	1	30	1
	整形外科学Ⅱ	1	30	
	一般臨床医学Ⅰ	1	15	14
	一般臨床医学Ⅱ	1	30	14
	神経内科学	1	30	1
	病理学概論	1	30	1
	小児科学	1 1	30	1
	臨床栄養学	1	15	1
	臨床薬学	1	15	1
	小計	14	375	1
保健医療福祉と	リハビリテーション概論	1	30	
リハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	1	15	1
	社会福祉学	1	30	4
	地域保健学	1	15	1
	小計	4	90	
基礎作業療法学	作業療法概論 I	1	30	
	作業療法概論Ⅱ	1	15	1
	基礎作業学	1	30	5
	基礎作業学演習I	1	30	J 3
	基礎作業学演習Ⅱ	1	30	1
	小計	5	135	
作業療法管理学	作業療法管理学 I	1	15	
	作業療法管理学Ⅱ	1	15	2
// NIC = 4 N = 2 1 1 2 1 1 1 N	<u>小</u> 計	2	30	
作業療法評価学	身体障害評価学I	1	30	I
	身体障害評価学Ⅱ	1	30	l
1	身体障害評価学Ⅲ	1	30	5
1	精神障害評価学 I	1	30	
	精神障害評価学Ⅱ	1 -	30	l
作業療法治療学		5	150	<del>                                     </del>
作業療法治療学	身体障害治療学 I	1	30	I
1	<u>身体障害治療学Ⅲ</u> 身体障害治療学Ⅲ	1	30 30	ł
1	身体障害治療学Ⅳ 身体障害治療学Ⅳ	1	30	l
	身体障害治療学V	1	30	i
1	身体障害治療学VI	1	30	1
1	身体障害治療学Ⅶ	1	30	1
1	身体障害治療学演習 I	1	30	1
	身体障害治療学演習Ⅱ	1	30	1
1	精神障害治療学 I	1	30	l
1	精神障害治療学Ⅱ	1	30	19
1	精神障害治療学Ⅲ	1	30	1
1	発達障害治療学Ⅰ	1	30	1
1	発達障害治療学Ⅱ	1	30	1
1	高次脳機能障害治療学	Î	30	1
1	日常生活活動	1	30	1
1	老年期障害治療学 I	1	30	1
1	老年期障害治療学Ⅱ	1	30	1
I	義肢装具学	1	30	Ī
		1		

坩	也域作業療法学	生活環境学	1	30	
		地域作業療法学 I	1	30	1
-		地域作業療法学Ⅱ	1	30	4
専		職業関連活動	1	30	1
		小計	4	120	1
蹈	点床実習	見学実習	1	45	
		観察実習	1	45	1
門		臨床評価実習	3	135	1
		臨床実習 I	9	405	22
		臨床実習Ⅱ	9	405	1
		地域実習	1	45	1
分		小計	24	1080	1
		作業療法特論 I	1	30	
		作業療法特論Ⅱ	1	30	
		作業療法特論Ⅲ	1	30	1
野		作業療法特論IV	1	30	1
2)		総合作業療法学演習I	3	90	1
		総合作業療法学演習 II	3	90	1
		小計	10	300	1
		合 計	118	3525	101
その遅	選択科目	障害者スポーツ特論	1	15	
他		小計	1	15	
-		合計	119	3540	101

甘7株匠 🖰			時間数	単位
基礎医学	医学総論	1	15	
	解剖学 I (総論・発生学)	1	30	
	生理学	1	30	3
	病理学	1	30	
	·····································	4	105	1
臨床医学	内科学	1	30	
MINNE 1	小児科学	1	30	1
	精神医学	1	15	1
		1		1
	リハビリテーション医学	1	15	
	耳鼻咽喉科学	1	30	6
	臨床神経学 I (神経内科学)	1	30	
	臨床神経学Ⅱ(脳神経外科学)	1	30	
	形成外科学	1	15	
	小計	8	195	
臨床歯科医学	臨床歯科医学•口腔外科学	1	30	1
	小計	1	30	1
音声•言語•聴覚医学	解剖学Ⅱ(中枢神経系の構造・機能)	1	30	
	解剖学Ⅲ(胸部、内臓の構造・機能)	1	30	1
	解剖学N(呼吸発声発語系、聴覚系の構造・機能)	1	30	3
	小 計	3	90	1
心理学	臨床心理学	2	30	
心性子	生涯発達心理学	2	30	-
				7
	学習·認知心理学	2	30	'
	心理測定法	1	30	
		7	120	
言語学	言語学 I	1	30	1
	言語学Ⅱ	1	30	2
	· 計	2	60	L
音声学	音声学Ⅰ	1	30	
	音声学Ⅱ	1	30	2
		2	60	1 -
音響学		<u>ک</u> 1	30	
日晋丁	音響子 I (音響子基礎・心見心理子) 音響学 II (音響・音声学実習)	1 1		2
		1	30	1 2
<b>⇒</b> ≠ ∞	小計	2	60	-
言語発達学	言語発達学	1	30	1
	小計	1	30	
社会福祉·教育	社会保障制度	1	15	1
	リハビリテーション概論	1	15	2
	医療福祉教育•関係法規	1	15	4
	· 小 計	3	45	
言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害概論	1	30	
	言語聴覚障害診断学 I (小児)	1	30	
	言語聴覚障害診断学Ⅱ(成人)	1	15	4
	言語聴覚障害診断学Ⅲ(成人)	1	30	1 1
		1		1
			105	
4. 五 五 4 m/ W 4 k k k k k k	小計	4		
失語·高次脳機能障害学	失語症 I (病態)	1	30	1
失語·高次脳機能障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練)	1 1	30 30	ł
失語·高次脳機能障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価)	1 1 1	30 30 30	
失語·高次脳機能障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練)	1 1 1 1 1	30 30	6
失語·高次脳機能障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価)	1 1 1 1 1	30 30 30	6
失語·高次脳機能障害学	失語症 I (病態) 失語症Ⅲ (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認)	1 1 1 1 1 1	30 30 30 30	6
失語·高次脳機能障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他)	1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30	6
失語·高次脳機能障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習	1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30	6
	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察 評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習	4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 7	30 30 30 30 30 30 30 30 210	6
失語·高次脳機能障害学 言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (評価、訓練) 医語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 I (検査学)	1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 210 30	6
	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 実語症・高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 I (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法)	1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30	6
	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症 (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (評価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 I (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導:前言語期・単語獲得期)	1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 31 30 31 30 31 30 31 30 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31	6
	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (課価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症。改脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 大語症。高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 I (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 言語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降)	1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	
	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (観察、評価) 失語症演習 II (表達、記憶、その他) 表語症・高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期)  語語発達障害 IV (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎)	1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15	6
	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (障害とその評価と指導:前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導:言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 II (評価・訓練)	1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15	
	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (課価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 I (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 I (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (評価・訓練) 言語発達障害演習 I	1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15	
	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (障害とその評価と指導:前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導:言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 II (評価・訓練)	1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15	
	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (課価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 I (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 I (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (評価・訓練) 言語発達障害演習 I	1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15	
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (決行、失認) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症。高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 大語症・高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害演習 I 言語発達	1 1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15 15 15 210 60 210	
	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (課価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 I (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 II (基礎) 脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 小 音声障害	1 1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15 15 210 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (決意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (評価・訓練) 言語発達障害演習 II 言語発達障害演習 II  ・ 計  ・ 計  ・ 計  ・ 計  ・ 計  ・ 計  ・ 計	1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15 15 210 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導:前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導:言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害演習 I	1 1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15 15 210 30 60 210 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (決意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害演習 I	1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15 30 60 210 30 30 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察 評価) 失語症演習 I (観察 評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 I (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (管害とその指導法) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害演習 I  「計	1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 15 15 15 30 60 210 30 30 50 15 15 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学 選習 小 言語発達障害 I (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (評価・訓練) 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害 [ (評価・訓練) 言語発達障害 [ (計価・訓練) 言語発達障害 [ (計価・訓練) 言語発達障害 [ (計価・影響)	1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15 15 30 60 210 30 30 30 15 15 15 15 15 15 15 15 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 I (評価、訓練) 失語症演習 I (観察 評価) 失語症演習 I (観察 評価) 失語症演習 I (誤極、訓練) 高次脳機能障害学 I (共行、失認) 高次脳機能障害学 I (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導:前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (茅価・訓練) 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 小 計 音声障害機能性構音障害 I (五蓋契) 器質性構音障害 I (五蓋型) 器質性構音障害 I (五五型)	1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15 15 30 60 210 30 30 15	6
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (決意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期)  言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (事価・訓練) 言語発達障害演習 II 言語発達障害演習 II 「計画・調練」 言語発達障害演習 II 「計画・調練」 「計画・調練」 「計画・調練」 「計画・事産・事産・事産・事産・事産・事産・事産・事産・事産・事産・事産・事産・事産・	1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15 30 60 210 30 30 15 15	6
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導:前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導:言語獲得期以降) 脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害 I (基礎)  避動障害性構音障害 I (基礎) 運動障害性構音障害 II (表論) 運動障害性構音障害 II (表論) 連動障害性機能の評価・訓練 I 構音・口腔機能の評価・訓練 I 機音・口腔機能の評価・訓練 I	1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15 30 60 210 30 30 15 15 15 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	6
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (評価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 I (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (愛達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害 I (五蓋契) 器質性構音障害 I (五蓋契) 器質性構音障害 I (五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五	1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15 30 60 210 30 30 15 15	6
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導:前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導:言語獲得期以降) 脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害 I (基礎)  避動障害性構音障害 I (基礎) 運動障害性構音障害 II (表論) 運動障害性構音障害 II (表論) 連動障害性機能の評価・訓練 I 構音・口腔機能の評価・訓練 I 機音・口腔機能の評価・訓練 I	1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15 30 60 210 30 30 15 15 15 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	6
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (評価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 I (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (愛達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害 I (五蓋契) 器質性構音障害 I (五蓋契) 器質性構音障害 I (五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五	1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15 30 60 210 30 30 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	6
言語発達障害学 発声発語・嚥下障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 I (共産、忠徳、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 I (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (評価・訓練) 言語発達障害演習 I 言語発達障害 I (計算・計算・計算・計算・計算・計算・計算・計算・計算・計算・計算・計算・計算・計	1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 2 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	6
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 I (評価、訓練) 失語症演習 I (観察 評価) 失語症演習 I (観察 評価) 失語症演習 I (誤極、訓練) 高次脳機能障害学 I (共産、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (発達改階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達改階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (評価・訓練) 言語発達障害演習 II	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	6
言語発達障害学 発声発語・嚥下障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (決意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期)  「語語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降)  脳性麻痺 I (基礎)  脳性麻痺 I (基礎)  脳性麻痺 I (事価・訓練) 言語発達障害演習 II 言語発達障害演習 II  一 計 音声障害 機能性構音障害 I (五癌) 運動障害性構音障害 I (基礎) 運動障害性構音障害 I (基礎) 運動障害性構音障害 I (基礎) 運動障害性機能の評価・訓練 I 構音・口腔機能の評価・訓練 I 構音・口腔機能の評価・訓練 I 構音・口腔機能の評価・訓練 I  「下障害」で音 I (概論、小児)  「吃音 II (概論、小児)  「吃音 II (概論、小児)  「応音 II (聴覚の基礎と聴覚検査)  「聴覚障害 II (聴覚障害学)	1 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 2 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 210 30 30 15 15 15 30 30 210 30 30 15 15 15 30 30 30 30 30 40 40 40 40 40 40 40 40 40 4	6
言語発達障害学 発声発語・嚥下障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I ( 基礎) 脳性麻痺 II ( 評価・訓練) 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害 [ ( 五蓋裂)  器質性構音障害 I ( 五蓋裂) 器質性構音障害 II ( 5癌) 運動障害性構音障害 II ( 5倍) 運動障害性構音障害 II ( 5倍) 運動障害性構音障害 II ( 5倍) 運動障害性機能の評価・訓練 I 構音・口腔機能の評価・訓練 I 機音・口腔機能の評価・訓練 I 機下障害 I ( 概論、小児) 吃音 I ( 概論、小児) 吃音 I ( 「成人) 小 計 聴覚障害 II ( 能覚の基礎と聴覚検査) 聴覚検査学 I	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	9
言語発達障害学 発声発語・嚥下障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (摩達とその指導法) 言語発達障害 II ( 経達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I ( 非価・訓練) 言語発達障害液習 I 言語発達障害液習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害 I ( 基礎)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	6
言語発達障害学 発声発語・嚥下障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 I (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (愛達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害 i (基礎) 脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害 i (基礎)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	9
言語発達障害学 発声発語・嚥下障害学	失語症 I (病態) 失語症 I (評価、訓練) 失語症演習 I (觀察 評価) 失語症演習 I (觀察 評価) 失語症演習 I (觀察 評価) 失語症演習 I (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (懷 音とその指導法) 言語発達障害 II (愛 達 段 階 の 評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 II (至 達 段 階 の 評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (評価・訓練) 言語発達障害演習 II	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	9
言語発達障害学 発声発語・嚥下障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 I (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (愛達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害 i (基礎) 脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害 i (基礎)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	9
言語発達障害学 発声発語・嚥下障害学	失語症 I (病態) 失語症 I (評価、訓練) 失語症演習 I (觀察 評価) 失語症演習 I (觀察 評価) 失語症演習 I (觀察 評価) 失語症演習 I (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (懷 音とその指導法) 言語発達障害 II (愛 達 段 階 の 評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 II (至 達 段 階 の 評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (評価・訓練) 言語発達障害演習 II	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	9
言語発達障害学 発声発語・嚥下障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (障害とその指導法) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	9
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (評価・訓練) 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害 I (舌癌) 運動障害性構音障害 I (基礎) 運動障害性構音障害 I (基礎) 運動障害性構音障害 I (基礎) 運動障害性構音障害 II (基礎) 運動障害性構音障害 II (基礎) 運動障害性構音障害 II (基礎) 運動障害性構音障害 I (基礎) 運動障害性情音障害 I (基礎) 運動障害 I (聴覚を評価・訓練 I 聴覚検査学 I 聴覚検査学 I 聴覚検査学 I 聴覚検査学 I 執聴器 人工内耳 小 計 実習前特別講義 I 実習前特別講義 II	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	9
言語発達障害学 発声発語・嚥下障害学	失語症 I (病態) 失語症 II (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (評価、訓練) 高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 IV (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害演習 I 言語発達障害 I (基礎)  脳性麻痺 II (評価・訓練) 言語発達障害 I (基礎) 連動障害性構音障害 I (基礎) 連動障害性構音障害 II (各論) 構音・口腔機能の評価・訓練 I 構音・口腔機能の評価・訓練 I 横音・口腔機能の評価・訓練 I 聴了障害 I (聴覚の基礎と聴覚検査) 聴覚検査学 I 聴覚検査学 I 聴覚検査学 I 補聴器 人工内耳 小 計 実習前特別講義 I 実習前特別講義 II 言語聴覚障害学特論	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	9
言語発達障害学 発声発語·嚥下障害学 聴覚障害学	失語症 I (病態) 失語症 I (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (表達、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (非価・訓練) 言語発達障害演習 II 小 計 音声障害 機能性構音障害 I (工	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	9
言語発達障害学	失語症 I (病態) 失語症 I (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (評価、訓練) 高次脳機能障害学 I (失行、失認) 高次脳機能障害学 I (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (発達改階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 II (発達改階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (評価・訓練) 言語発達障害演習 II 小 計 音声障害 機能性構音障害 I (舌癌) 運動障害性構音障害 I (舌癌) 運動障害性構音障害 II (舌癌) 運動障害性機能の評価・訓練 I 構音・口腔機能の評価・訓練 I 構音・口腔機能の評価・訓練 I 構音・口腔機能の評価・訓練 I 糖	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	9
言語発達障害学 発声発語·嚥下障害学 聴覚障害学	失語症 I (病態) 失語症 I (評価、訓練) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 I (観察、評価) 失語症演習 II (表達、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学 II (注意、記憶、その他) 失語症・高次脳機能障害学演習 小 計 言語発達障害 II (検査学) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 前言語期・単語獲得期) 言語発達障害 II (発達段階の評価と指導: 言語獲得期以降) 脳性麻痺 I (基礎) 脳性麻痺 I (非価・訓練) 言語発達障害演習 II 小 計 音声障害 機能性構音障害 I (工	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	9

	授 業 科 目	単位数	授 業 時間数	法 5 単位数
人体の構造及び機能	人の構造及び機能	2	30	1 1-47
	生理学	1	15	
	臨床生理学	1	15	6
	病理学概論	2	30	
	- 小 計	6	90	
臨床工学に必要な	医学概論	1	15	
医学的基礎	公衆衛生学	1	15	
	臨床生化学	2	30	
	臨床免疫学	1	15	8
	臨床薬理学	2	30	_
	看護学概論	1	15	
	小計	8	120	
臨床工学に必要な	医用工学概論	2	30	
理工学的基礎	応用数学	2	30	
生工于17至诞	応用物理学	2	30	
	電気工学	2	30	1.0
	電子工学	2	30	16
	機械工学	2	30	
	医用電子工学概論	2	30	
	電気·電子工学演習	2	60	
	小計	16	270	
臨床工学に必要な	医用システム・制御工学	2	30	
医療情報技術と	情報処理工学	2	30	
システム工学の基礎	システム工学演習	1	15	7
	情報処理演習	2	30	
	小計	7	105	
医用生体工学	医用機器学概論	2	60	
	生体物性工学	2	60	
	材料工学	2	60	7
	医用画像処理工学	1	30	·
		7	210	
医用機器学	計測工学	1	30	<b>-</b>
四/11/双位十	生体計測装置学	1	30	
	生体計測装置学演習	2	60	
	生体計測装直字演首 医用治療機器学			8
		2	60	
	医用治療機器学演習	2	60	
II. LL-146 AR IN ZELL-ZIEWI	小 計	8	240	
生体機能代行技術学	腎·泌尿器学	1	30	
	血液浄化装置学	2	30	
	呼吸器学	1	30	
	呼吸療法装置学	2	30	
	循環器学	1	30	12
	体外循環装置学	2	30	12
	血液浄化装置学演習	1	30	
	呼吸療法装置学演習	1	30	
	体外循環装置学演習	1	30	
	小計	12	270	
医用安全管理学	医用機器安全管理学	2	30	
	医用機器安全管理学演習	2	60	
	関係法規	1	15	5
	小計	5	105	
関連臨床医学	麻酔治療医学	1	30	
肉是咖外区于		ı		
	集中治療医学	1	30	
	臨床医学総論 I	1	30	
	臨床医学総論Ⅱ	1	30	6
	臨床医学総論Ⅲ	1	30	
	臨床医学総論IV	1	30	
	小計	6	180	
臨床実習	臨床実習(血液浄化装置)	1	45	
	臨床実習(集中治療室)	1	45	
	臨床実習(手術室)	1	45	4
	臨床実習(医療機器管理)	1	45	
	小計	4	180	
総合	総合臨床工学演習 I	1	30	
17-G- E-1	総合臨床工学演習Ⅱ	1	30	
				•
	小計	2	60	

1 入学検定料 25,000 円

## 2 入学金・授業料及びその他の必要経費

診療放射線科	入学金	授業料	施設維持費	実験実習費	年 額
 第 1 学年					
	200, 000	800, 000	200, 000	200,000	1, 400, 000
第2学年		800, 000	200, 000	200,000	1, 200, 000
第3学年		600, 000	200, 000	200, 000	1,000,000
a床工学科					(単位:円)
	入学金	授業料	施設維持費	実験実習費	年 額
第1学年	200, 000	800,000	200, 000	200,000	1, 400, 000
第2学年		800,000	200, 000	200,000	1, 200, 000
第3学年		600,000	200,000	200,000	1,000,000
見能訓練士科					(単位:円)
元	入学金	授業料	施設維持費	実験実習費	年額
第1学年	200, 000	800,000	200,000	200,000	1, 400, 000
第2学年	200, 000	800,000	200,000	200,000	1, 200, 000
第3学年		600,000	200,000	200,000	1,000,000
>14 - 4 1					_, ,
里学療法士科	- W. A	les alle dal	11 11. 11 11 11.		(単位:円)
	入学金	授業料	施設維持費	実験実習費	年 額
第1学年	200, 000	900, 000	260, 000	260, 000	1,620,000
第2学年		900,000	260, 000	260,000	1, 420, 000
第3学年		700, 000	260, 000	260, 000	1, 220, 000
作業療法士科					(単位:円)
	入学金	授業料	施設維持費	実験実習費	年額
第1学年	200,000	900,000	260,000	260,000	1,620,000
第2学年	·	900,000	260,000	260,000	1, 420, 000
第3学年		700, 000	260, 000	260,000	1, 220, 000
言語聴覚士科					(単位:円)
ユ #ロヤいクロ ユーキ T	入学金	授業料	施設維持費	実験実習費	年額
第1学年	200, 000	800,000	200,000	200,000	1, 400, 000
第2学年	200,000	800,000	200, 000	200,000	1, 200, 000
200 = 1 1		,		=,	2,200,000
塩床工学専攻科					(単位:円)
	入学金	授業料	施設維持費	実験実習費	年 額
第1学年	200,000	600,000	200,000	200,000	1, 200, 000